



▲町役場屋上の太陽光発電システム



◀補助金を利用して設置した村野実さん宅の太陽光発電システム、村野さんは「エコにも節約にも役立つ」と語ります。

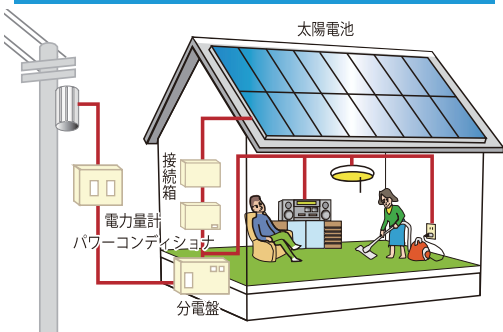
太陽光発電は、「太陽電池」と呼ばれる装置を用いて太陽光を電気に変える仕組みです。地球上に到達する太陽光のエネルギー量は1平方メートルあたり約1キロワット。もしも地球全体に降り注ぐ太陽エネルギーを100パーセント変換できるとしたら、世界の年間消費エネルギーを、わずか1時間でもまかなうことができるほど巨大なエネルギーです。

現在、日本は石油や石炭などのエネルギー資源のほとんどを諸外国からの輸入に頼っていますが、こうした化石燃料は使い続けられずなくなるとい

太陽光発電を活用

太陽光エネルギーから電気にも

住宅用太陽光発電システム



住宅用の太陽光発電システムは、太陽光を受けて太陽電池が発電した電力を変換して、家庭内のさまざまな家電製品に電気を供給します。

一般の太陽光発電システム（系統連系方式）では、電力会社の配電線とながっているため、発電した電力が消費電力を上回った場合、余剰分は逆に電力会社へ送電（逆潮流）します。送電した電気は買い取ってもらうこと（売電）ができ、電気代の節約につながります。反対に、くもりや雨の日など、発電した電力では足りないときや夜間などは、今までのように電力会社からの電気を使用します。

一般住宅での太陽光発電

「太陽電池」
太陽電池は、太陽光エネルギーを吸収して、一般的な電池のように電力を蓄えるのではなく、直接電力に変換して出力します。シリコンや化合物などの半導体で作られ、この半導体に光が当たると、日射量に比例して発電します。

「再生可能エネルギー」
名前のとおり、再生が可能なエネルギーのことを表し、太陽光などのように常に一定量が地球に降り注ぐものが該当します。ほかには、風力、水力、バイオマス、地熱などがあります。大きな特長は、資源を枯渇させずに利用可能であることが挙げられ、世界各国で導入が進んでいます。

太陽光発電システムの設置費用は
設置費用は、システムの規模によって変わります。太陽光発電システムの定格出力1キロワットあたり、年間約1,000キロワット時の電力を発電します（地域や設置の方位、傾斜角によって変化）。平均的な一般家庭で消費する電力量は、年間約3,600キロワット時です。設置費用は、1キロワットあたり、平均70万円ほどで、仮に3キロワットのシステムを設置する場合、210万円ほどの設置費用と考えられます。

住宅用太陽光発電システム 設置費補助金制度

町では、住宅用太陽光発電システムを設置する方に、費用の一部を補助しています。主な内容は次のとおりです。

補助金額	1キロワットあたり県と町から合わせて6万5千円、最大22万円までの補助。
対象	住宅の屋根などへの設置に適した太陽光発電システムで、最大出力が10キロワット未満の未使用品。
申込	①電灯契約を結んでいる個人で、自己住居として使用している建物（店舗・事務所などの兼用を含む）を所有している方 ②工事中工前またはシステム付住宅の購入前に申請手続が必要 ③申請時に町税等の未納がないこと
補助件数	5件（先着順） ※現在、2件を受付済

国(J-PEC)の補助制度
10キロワット未満の設備が対象で1キロワットあたり7万円を県と町の補助とは別に受けることができます。県土地建物保全協会(☎045-201-9967)へ直接お問合せください。

【問合せ】環境経済課環境係 ☎(83)1228